



発行：令和3年7月20日 第2号
多機能サポートランドさわおとの森



さわおとの森新築
移転に伴う続報

生活介護わのみ
定員拡大



新型コロナ
ワクチン接種



各部署からの報告や
お知らせ

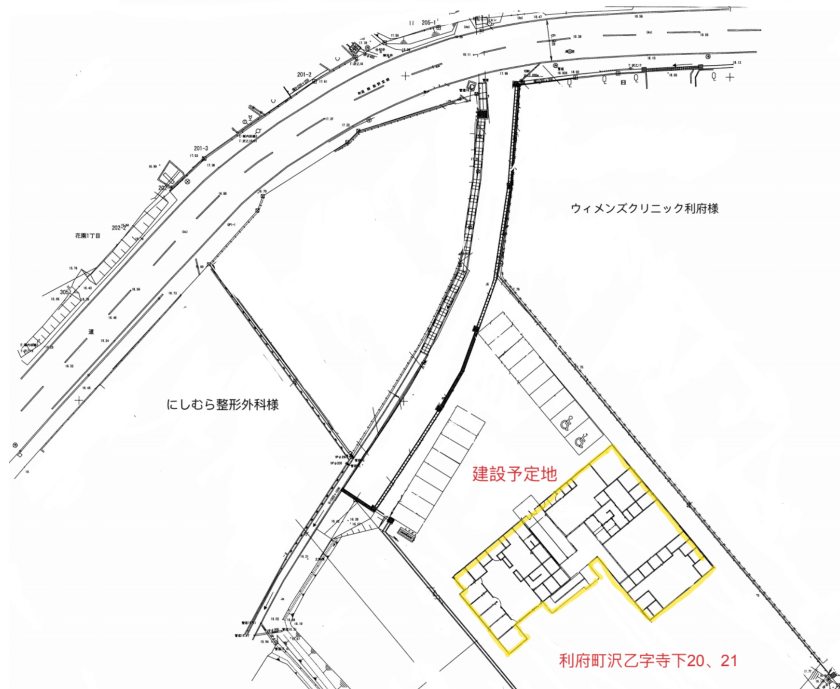
さわおとNEWS (第2号)

多機能サポートランドさわおとの森新築移転に伴う続報

6月中に条件付一般競争入札を行い、結果として新築移転に伴う工事は、落札された大東住宅株式会社さんをお願いすることになりました。以降にイメージとして掲載していますが、細かくてわかりにくいと思いますので補足をさせていただきます。

建設予定地は、「利府町沢乙字寺下20、21」本棟と短期入所棟の木造二棟の作りとなり、本棟は一部二階建て、短期入所棟は総二階建てとなります。

本棟では放課後等デイサービスと生活介護の通所サービス事業と事務室を予定しています。短期入所棟は定員拡大分も含め、1階と2階合わせて12名分の個室、1階と2階それぞれ浴室とトイレを設置、1階には厨房と中央部に食堂兼談話室を設け、その上は2階まで吹き抜けとなります。



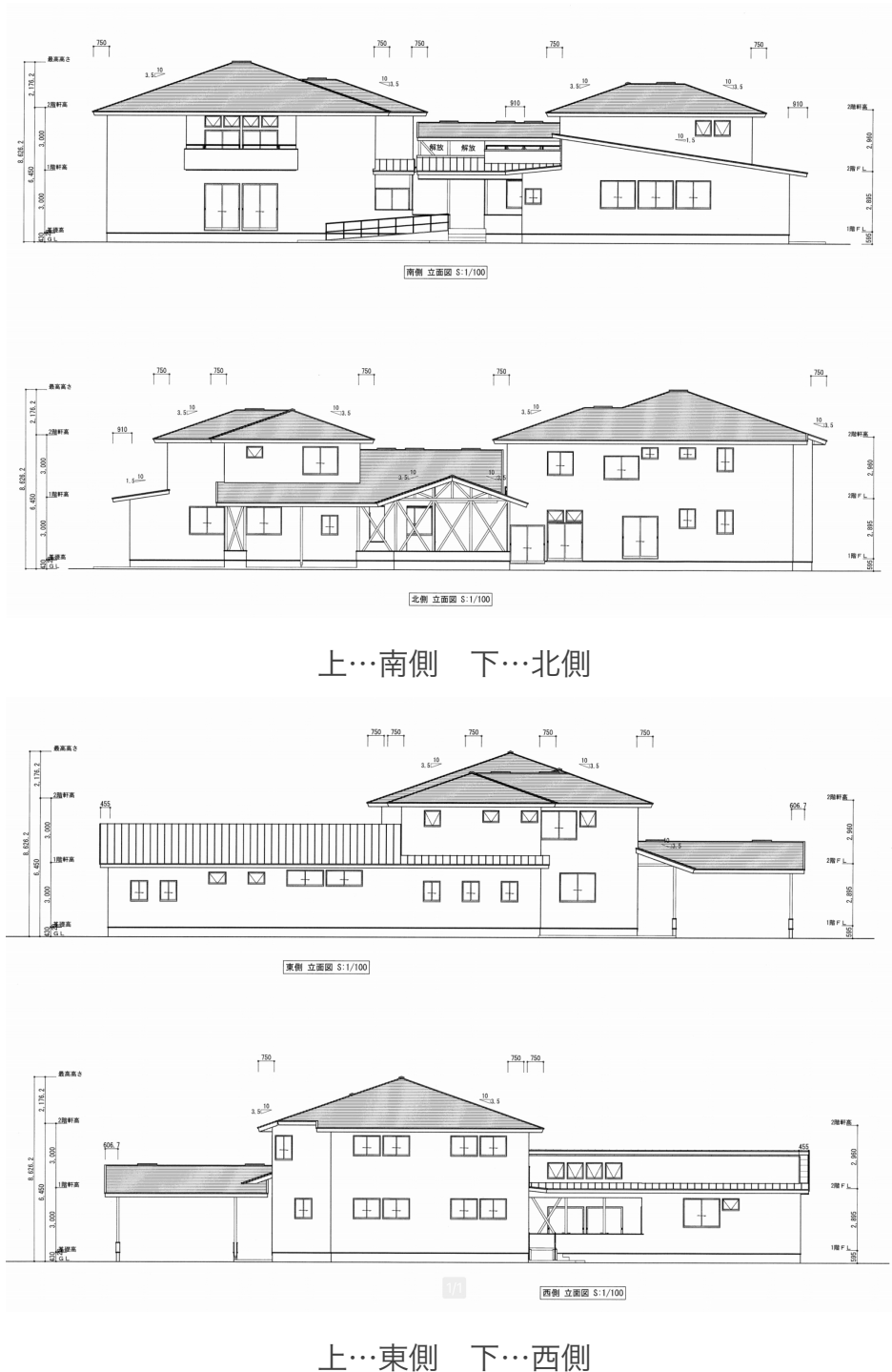
建設地イメージ



1階 平面図 S:1/200

2階 平面図 S:1/200

間取りイメージ



7月末から土木工事と建設工事を同時に進める予定です。来年2月末に竣工を迎え、本格的に稼働するのは来年4月を予定しています。

短期間に工事と引越し等を詰め込むことになりますので、見通しがつかない部分もあります。移転切替の際に、可能な限り通所や短期入所サービス提供が途切れないよう努めて参りますが、やむを得ず短期間の休園等の対応をさせていただく場合があるかもしれません。その際は、早め早めにご連絡と調整をさせていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

生活介護わのみ定員拡大

さわおとの森の新築移転に伴い、生活介護わのみの定員拡大についても「さわおとNEWS第1号」でお知らせしているところですが、関係各所より様々なご意見を頂戴し、その反響の大きさに驚いているところです。

つきましては、この事態を真摯に受け止めながら、令和4年度の新規ご利用者の受け入れ対象について検討を重ねました。その結果、令和3年度卒業生を対象とし、早速今年度から支援学校

の実習受け入れをさせていただくことになりました。次年度に向けた利用についてたくさんのお問い合わせを頂戴し、意に添えない判断となってしまった方々には誠に恐縮ではございますが、ご理解の程、よろしくお願いいたします。

職員の新型コロナワクチン接種

宮城県障害福祉課より、ワクチン供給量と接種予約者数の乖離分ワクチンの有効活用について通知があり、園として職員の接種希望の申し込みを行いました。7月中には、多機能サポートランドさわおとの森配置の職員28名中、集団（免疫）予防の目標値80%以上の職員がワクチン接種2回目を終える予定です。発症予防効果は期待できるものの、感染予防について十分には明らかになっていない状況のようです。今後も感染拡大防止の取り組みを継続しながら、多機能サポートランドさわおとの森を安心してご利用いただけるよう努めてまいります。



各部署からの報告

くるみクラブと短期入所コラボ企画 「くるみキャンプ」開催に向けて

おいせ

昨年よりコロナウイルス感染症により、外出制限がかかり、学校にも登校できない日々が3～4か月ありました。やっと再開された学校もすぐに夏休みに入っと思えば、期間も短縮されイベントや人の集まる場所への外出も自粛。子どもたちはガマン、ガマンの一年半でした。

今年の夏はデイの子どもたちが楽しめる企画はないか？と短期入所担当者と話したところ、普段バラバラの曜日に泊まっているの子どもたちを同じ日に泊まってみるのはいかがでしょうか？との提案をいただき、今回の企画に実りました。また、短期入所を利用している利用児を確認し、木曜日の利用児8名が短期入所を現に利用しているということで、8月5日（木）で調整をし、開催日を決定しました。

日中活動のくるみクラブから、夕方以降の短期入所の丸一日を「くるみキャンプ」と称し、水遊び、スイカ割り、夕食作り、花火大会等、、子どもたちが楽しめる内容を企画準備中です。今回の企画は試みでもあります、以降のイベント開催についても参考にしていきたいと思えます。

わのみ喫茶、専門職の先生との連携

生活介護わのみでは、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士の先生方にも支援に加わっていただいています。今回、わのみ喫茶では、保護者と一緒に、活動の体験会などをする企画としました。事前に保護者様にアンケートを取らせていただき、肩こり腰痛などをテーマにしたストレッチ体操を行いました。身体を意識することで、効果てきめんだった



のではないのでしょうか？ストレッチをする意味について、先生方からアドバイスを頂くことで、改めて職員もその意味を感じることができました。今後も活動の中で、専門職の先生と連携を図りながら進めていきます。

各部署よりお知らせ

短期入所より

コロナ禍の折、日々サービス提供書やお電話での体調確認にご協力いただきありがとうございます。現在、感染拡大防止の観点から余暇時間の過ごし方や部屋割りなどで制限がありご不便をおかけしていますが、ご利用になる方の安全を最優先に考えて運営しておりますのでご理解、ご協力をお願いいたします。

放課後等デイサービスくるみクラブより

9月に個別面談を予定しています。後日、改めて連絡調整させていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

生活介護わのみより

おやなぎあとと研修現在実施中です。8月以降は外部講師も依頼していますので今後もよろしくお願いいたします。

居宅・行動援護より

梅雨明け迎え、暑い日々が続きそうですね。時節柄、さわおとの森行動援護では現在「健康維持のための散歩」を主とした支援をさせていただいていますが、今後は感染対策に加えて熱中症対策も重要になってきます。着替えや帽子の用意など、ご家族の皆様にもできる限りのご協力をいただければ幸いです。

総務より

すでにお便りでお知らせしておりますが、8月分より実費負担額が一部変更になります。ご不明な点ございましたら、各事業の主任までお問い合わせください。

【編集後記】

さわおとNEWS第2号をご覧いただきありがとうございます。

多機能サポートランドさわおとの森の新築・移転の話。特に生活介護の定員拡大について、大きな反響がありました。今回のさわおとNEWS第2号では、きちんとした説明が必要と感じ、今後の方向性を掲載をさせていただいております。地域に根付いた施設であること、日々の支援の重要性を改めて感じさせられる機会となりました。

また、新型コロナワクチン接種についても、好機と捉えるべきか、供給量と予約量の乖離分の有効活用として、県が掲げた施設職員向けを接種対象とした対策に意欲的に申し込みを行いました。世間一般では新たに「接種しないこと」への新たな差別と偏見が生まれつつあるようです。あくまで「ワクチン接種は個人の判断に委ねられる」ことが前提で義務ではないことを伝えながら、職員の接種希望を募りました。嘱託医からは、ワクチン接種をしない選択をしたとしても、集団（免疫）予防といえる割合までワクチン接種が進んでいれば、その恩恵は大きいと評価をいただいております。今後、ますます地域での集団接種や職域接種が進むことと思います。記事でも触れましたが、感染予防についてまだまだ明らかになっていないようです。ワクチン接種で安心せずに改めて感染予防対策についてを考えていきたいと思っています。